

## 大気環境中のアスベスト濃度について

### ◆平成 18 年度の調査結果がまとまりましたのでお知らせします◆

横浜市では、市域における大気環境中のアスベスト濃度の実態を把握するため、平成 18 年度から、新たに各区 1 地点全 18 区で年 4 回（四季）調査を実施しており、その結果がまとまりましたのでお知らせします。

年間を通じて、濃度の範囲は 0.04 未満～0.61 本／リットルで、環境省が平成 17 年度に実施した全国的な調査の結果（「平成 17 年度アスベスト緊急大気濃度調査結果について」平成 18 年 3 月 31 日報道発表）の範囲内（0.11 未満～1.38 本／リットル）でした。

なお、アスベストには環境基準はありませんが、WHO の環境保健クライテリア（※ 1）によると、世界の都市部の一般環境中のアスベスト濃度は、1 本～10 本／リットル程度であり、この程度であれば健康リスクは検出できないほど低いと記載されておりますので、本市の調査結果についても 問題になるレベルではないと考えております。

平成 18 年度の調査結果（一般環境大気中のアスベスト濃度 単位：本／リットル）

NO	調査地点	アスベスト濃度（※ 2）				範囲	
		春	夏	秋	冬	最大	最小
		5/22～23	8/21～22	11/15～16	1/25～26		
1	鶴見区生麦	0.04	0.18	0.04未満	0.18	0.18	0.04未満
2	神奈川区広台太田町	0.04	0.09	0.13	0.27	0.27	0.04
3	西区平沼	0.08	0.04未満	0.13	0.04	0.13	0.04未満
4	中区本牧大里町	0.04	0.04未満	0.04	0.09	0.09	0.04未満
5	南区南太田	0.04	0.18	0.09	0.18	0.18	0.04
6	港南区野庭町	0.17	0.22	0.04未満	0.22	0.22	0.04未満
7	保土ヶ谷区桜ヶ丘	0.04	0.04未満	0.09	0.18	0.18	0.04未満
8	旭区鶴ヶ峰	0.04未満	0.04未満	0.09	0.13	0.13	0.04未満
9	磯子区磯子	0.08	0.09	0.09	0.18	0.18	0.08
10	金沢区富岡東	0.04未満	0.04未満	0.04	0.17	0.17	0.04未満
11	港北区大豆戸町	0.17	0.04未満	0.13	0.18	0.18	0.04未満
12	緑区三保町	0.61	0.31	0.22	0.22	0.61	0.22
13	青葉区市ヶ尾町	0.22	0.17	0.09	0.13	0.22	0.09
14	都筑区茅ヶ崎中央	0.18	0.04未満	0.04未満	0.22	0.22	0.04未満
15	戸塚区汲沢	0.04	0.09	0.09	0.36	0.36	0.04
16	栄区犬山町	0.27	0.04	0.31	0.18	0.31	0.04
17	泉区和泉町	0.26	0.09	0.13	0.27	0.27	0.09
18	瀬谷区南瀬谷	0.13	0.13	0.22	0.36	0.36	0.13

※0.04 未満の場合、平均値の計算は 0 本として算出しました。

（※ 1）環境保健クライテリアとは、世界保健機関（WHO）、国際労働機関（ILO）及び国連環境計画（UNEP）が共同で実施している国際化学物質安全性計画（IPCS）の活動のひとつで、化学物質等が人の健康や環境へ与える影響についての専門家による評価をまとめたもの。

（※ 2）アスベストの測定は、期間中の 24 時間の試料採取によるものです。

[参考] 採取地点図

